

2023年7月27日 (週刊)



① ヒマワリ"サンフィニティ"が「見頃」です。



枝分かれして次々に咲く姿をお楽しみください。

② クリサンセマムが「開花中」です。



丸くカラフルな花姿を楽しめます。

③ ハスは午前中が「見頃」です。



午前中に花を開き、午後には閉じてしまいます。

④ ヒョウタンの実がなっています。

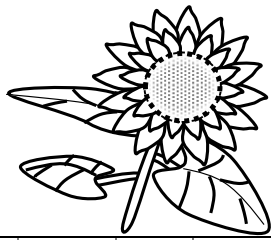


現在2つほど実がなっています。

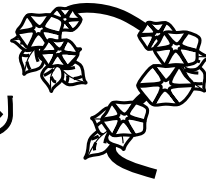
⑤ ダリアが「開花中」です。



順次開花が進んでおります。  
様々な花姿をお楽しみいただけます。



# 週刊花だより



2023.7.27(木)

	植物名	科名	状況	場所	一口メモ
花畑	ヒマワリ (サンフィニティ)	キク	見頃	ハーブの丘(もみじ橋近くの丘)	花畑での観賞用としてだけでなく、食用油や石鹸の原料にもなる夏の風物詩です。この品種は枝分かれをし、小さな花を沢山咲かせます。
	サギソウ	ラン	開花 始め	花木園菖蒲田付近	サギが飛ぶ姿によく似た白い花を咲かせます。
	キキョウ	キキョウ	開花中	日本庭園、こもれびの丘南斜面	根が生薬にもなります。蕾が風船のように膨らむことから英名でバルーンフラワーとも呼ばれています。
	ダリア	キク	開花中	ダリアの庭、こもれびの里	花形のタイプでも十数種に分類されるほど非常にたくさんの品種があります。
	カワラナデシコ	ナデシコ	開花中	秋の七草園(No.16交差点周辺)	一般的に外来種をナデシコ、在来種をカワラナデシコやヤマトナデシコと呼び、外来種との区別化をしていたものが標準名となりました。
	コキア	アカザ	生育中	No11交差点	夏は葉が柔らかく、ふわふわとした姿を楽しめます。夏～秋に成る実は食用で、「とんぶり」という秋田県の特産品として知られています。
	トケイソウ	トケイソウ	開花中	花木園売店前 はなみどり文化センターグリーンカーテン	花卉、おしべの形が時計に似ているため名付けられました。熱帯性の植物で、パッションフルーツの仲間として知られています。
	ミソハギ	ミソハギ	開花中	花木園菖蒲田、さざなみ広場	ピンク色の細かい花を花茎の先にたくさん付けます。
	クリサンセマム	キク	開花中	もみじ橋周辺	キクの園芸種です。花数が多く品種も多様なため、こもりとした可愛らしい花姿を楽しむことができます。
	ヒヨウタン(実)	ウリ	実	こもれびの里	古くから、乾燥させ容器や装飾品などに加工されています。
ハス	スイレン	見頃	こもれびの里	実の形がハチの巣に似ていることからハチスと呼ばれ、変異してハスとなりました。原産地はインドです。	
樹木	タマアジサイ	アジサイ	開花 始め	花木園ロックガーデン	その名の通り、球体状の蕾をつけることから名前が付けました。花の咲き方はガクアジサイと似ています。
	サルスベリ	ミソハギ	開花 始め	カナル北側斜面、昭島口、プール前	サルも滑ってしまう程木肌が滑らかなのが特徴です。ピンクや白の花を初夏から秋にかけて非常に長い期間咲かせます。
	コブシ(実)	モクレン	実	こもれびの里、砂川口 こもれびの里休憩棟	初春につける蕾の形も人の拳に似ていることから名前が付いたとされていますが、この時期につける実も拳を握った形に似ています。
	トチノキ(実)	ムクロジ	実	こどもの森わくわくゲート	褐色のピンポン玉程度の大きさの実をつけます。
	ホオノキ(実)	モクレン	実	ハーブの丘	突起のある長楕円形の大きな実をつけ、秋になるにつれて熟してくると、綺麗な鮮紅色になります。
ハーブ園	カルーナ	ツツジ	開花中	花木園売店前	非常に寒さに強い植物で、寒い地域ではグランドカバーとしても用いられます。品種数も多く世界中で栽培されています。
	チコリ	キク科	開花中	花木園売店前	薄紫色でライオンのたてがみのような花を咲かせます。チコリコーヒーに使われます。
	宿根フロックス	ハナシノブ	開花中	ハーブ園、西立川口ぶらぶら坂下	開花期間が長い夏の花です。オイヤソウ、クサキョウチクトウなどの別名もありますが、キョウチクトウと異なり毒はありません。
こもれびの丘	キンミズヒキ	バラ	開花 始め	こもれびの丘南斜面	名前の由来は金色のミズヒキ(タデ科)からだが、本種はバラ科です。
	カリガネソウ	シソ	見頃 終盤	こもれびの丘南斜面	花の形が鳥の雁(かりがね)の首に見えたことから由来します。
フシグロセンノウ、オオバギボウシ、キキョウ、ニガクサ等の夏の山野草が開花中です。					
盆栽苑	盆栽苑 床の間展示	水石「貴船石」と添え草「貴乙女ヤマボウシ」をご覧ください。			